

講座「生きること」～語る自分史～

第1回
10月11日（水）
午後2時～

北芝コミュニティに生きる

NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝 代表理事 うずはし のぶお 埋橋 伸夫さん

第2回
10月17日（火）
午後2時～

生き直し ～人は強制力では変わらない。変わるとしたら
それは自分の中に息づく愛を知った時～

依存症回復施設職員・生活支援員・介護福祉士 わたなべ ようじろう 渡邊 洋次郎さん

第3回
10月24日（火）
午後2時～

阪神・淡路大震災から得た教訓 ～支え合うこと～

語り部 KOBEL995 前代表／語り部メンバー崔敏夫の三男／元中学校教諭

たむら かつたろう 田村 勝太郎さん / チェ スヨン 崔 秀英さん / わき みつよ 和氣 光代さん

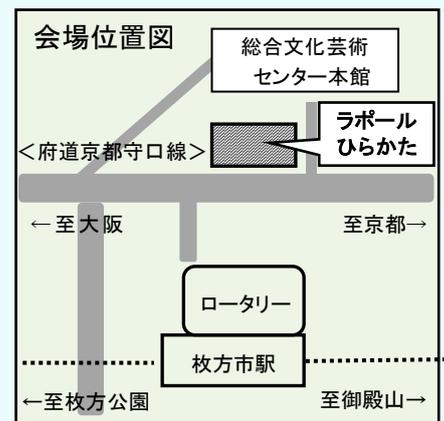
第4回
10月28日（土）
午後2時～

ベトナム語の通訳を続けて25年

～日本とベトナムの間で～

通訳翻訳業・ベトナム語司法通訳人 チャン・ティ・ヒエンさん

- 会場 ラポールひらかた 4階 大研修室
- 時間 各講座 午後2時～4時
- 定員 各講座 先着 120人
- 参加費 無料 ※1講座のみの参加もできます
- 参加申込 9月4日（月）午前10時から、電話・ファクス
・電子メールで受付開始
※ファクス、電子メールの場合は、次の必要事項
（①～④）を明記してください。
- 必要事項 ①講座開催日 ②氏名(フリガナ)
③電話番号
④保育（生後6か月～就学前児、各講座先着5人）、手話、要約筆記の希望
※保育・手話・要約筆記については、各回の開催日のおおむね1週間前までに要予約
- 申込・問合せ先 特定非営利活動法人 枚方人権まちづくり協会
電話 072-844-8788 FAX 072-844-8799
Email hirakatajinkenkyokai@wing.ocn.ne.jp



令和5年度
(2023年度)

講座「生きること」

～語る自分史～

講師からのメッセージ

◆履歴だけを見ると単調な生き方に見えるが、北芝コミュニティの人たちと多様な活動のおかげで充実した人生が可能となった。

◆差別と偏見を乗り越える開かれたまちづくりの魅力を語りたい。

- ・「寝た子を起こすな」の克服
- ・部落解放運動の転換をどう図ったか
- ・全国水平社創立から100年、若い層にどうバトンを渡すか
- ・北芝における重層的なまちづくりの到達点と今後の課題

第2回 10月17日 (火)

生き直し 人は強制力では変わらない。変わるとしたらそれは自分の中に息づく愛を知った時

依存症回復施設職員・生活支援員・介護福祉士

渡邊 洋次郎さん

◆避難している人たちがよりよい暮らしを作ろうと支え合った。(田村 勝太郎さん)

◆震災での経験を色んな方々に伝えて、風化させないようにしたい。大切な家族、色んなものを失ったことで気付いた事などを経験談を通して伝えていきたい。(崔 秀英さん)

◆私たちの阪神・淡路大震災の体験が、今後予想される大地震への関心や備えにつながり、自分たちの命をどうすれば守ることができるかを、身近な人と考える機会になればと願います。(和氣 光代さん)

第4回 10月28日 (土)

ベトナム語の通訳を続けて25年

通訳翻訳業・ベトナム語司法通訳人

チャン・ティ・ヒエンさん

第1回 10月11日 (水)

北芝コミュニティに生きる

NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝 代表理事

埋橋 伸夫さん

◆少年期からの非行、薬物乱用、自傷行為。少年院、精神科病院入退院を繰り返すも生き方は変わらず。刑務所に入った日々の中で向き合ったのは、自分自身の在りよう、生きること、死ぬことだった。同じ依存を持った仲間達の中で生き直す日々。力が無かったんじゃない。仲間の中で、死、絶望へ向いていた力の向きが、生、光へと向けられた。

第3回 10月24日 (火)

阪神・淡路大震災から得た教訓

語り部KOBÉ1995

田村 勝太郎さん・崔 秀英さん
・和氣 光代さん

◆現在日本には、300万人を超える外国籍の方が暮らしています。中でもベトナム人の方の割合は年々増加しており、ここ関西でも数多くのベトナムの方が生活しています。言葉も生活スタイルも異なる異国の地で暮らす同胞に対して、何か手助けすることはできないか、日本とベトナムの橋渡しができないか、という思いで通訳を始めてから、25年が過ぎました。これまでいろいろなことが起こり、日本とベトナムの関係もかなり変わりました。これまで通訳などの仕事を通して見てきたこと、今後の夢や不安などについてお話してきたらと思っています。